

## 実験・実習の開講計画書

ページ	科目名
1	植物資源科学実験Ⅱ
2	有機・分析化学系実験
3	生化学・分子生物学系実験
4	農村整備演習
5	植物資源科学実験Ⅰ
6	動物生産システム実習Ⅱ
7	木材科学演習
8	生産環境計測演習
9	土木材料演習
10	動物生命機能学実験
11	植物生産一貫実習Ⅱ
12	緑地設計製図
13	木材工学
14	動物資源化学実験(10/2掲載)

## 実験・実習の開講計画書

科目名	植物資源科学実験Ⅱ				
担当教員	入枝泰樹、小林みずき、阿久津雅子、浜野充、加藤新平				
開講日	月	日	時限	場所等	
および 時限	1	9	29	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/ガイダンス
	2	10	6	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/植物感染生理学実験1
	3	10	13	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/植物感染生理学実験2
	4	10	20	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/植物感染生理学実験3
	5	10	27	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/植物感染生理学実験4
	6	11	10	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/園芸学実験1
	7	11	17	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/園芸学実験2
	8	11	24	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/園芸学実験3
	9	12	1	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/園芸学実験4
	10	12	8	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/植物感染生理学実験5
	11	12	15	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/農業経済・経営学実験1
	12	12	22	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/農業経済・経営学実験2
	13	1	12	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/国際地域開発学実験1
	14	1	19	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/国際地域開発学実験2
	15	1	26	13:30～16:30	第4実験室・30番講義室/総括・復習
	16			～	
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	2グループに分けて実施する。			
	2	実験台1台あたり3名以内とし、正面で向かい合っの座席配置としない。			
	3	窓を開けて換気する。			
	4	マスクを着用する。			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
受講学生 への 連絡事項	第10回(12月8日)は、ノートパソコンを持っている人は持参してください。				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	有機・分析化学系実験				
担当教員	伊原正喜、大神田淳子、中村浩蔵、真壁秀文、梅澤公二、河村篤				
開講日	月	日	時限	場所等	
および 時限	1	9	29	3～5	24番教室、第2・5実験室
	2	10	1	3～5	24番教室、第2・5実験室
	3	10	2	3～5	24番教室、第2・5実験室
	4	10	6	3～5	24番教室、第2・5実験室
	5	10	8	3～5	24番教室、第2・5実験室
	6	10	9	3～5	24番教室、第2・5実験室
	7	10	13	3～5	24番教室、第2・5実験室
	8	10	15	3～5	24番教室、第2・5実験室
	9	10	16	3～5	24番教室、第2・5実験室
	10	10	20	3～5	24番教室、第2・5実験室
	11	10	22	3～5	24番教室、第2・5実験室
	12	10	23	3～5	24番教室、第2・5実験室
	13	10	27	3～5	24番教室、第2・5実験室
	14	10	29	3～5	24番教室、第2・5実験室
	15	10	30	3～5	24番教室、第2・5実験室
	16	11	5	3～5	24番教室、第2・5実験室
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	マスクの着用			
	2	座学では距離を保って着席する。			
	3	アルコール消毒の徹底。			
	4	ゴーグル着用の徹底。			
	5	入室前の検温			
	6	実習では、2つ以上のグループに分け、場所もしくは時間を変えて実施し、3密を避ける			
	7				
	8				
	9				
	10				
受講学生 への 連絡事項	マスク、白衣、ゴーグルを着用してください。				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	生化学・分子生物学系実験				
担当教員	鈴木俊介, 喜井 勲, 小西博昭, 千 菊夫, 保坂 毅				
開講日	月	日	時限	場所等	
および 時限	1	11	10	3～5時限	第2実験実習室(担当:千・保坂,第1回)
	2	11	12	3～5時限	第2実験実習室(担当:千・保坂,第2回)
	3	11	13	3～5時限	第2実験実習室(担当:千・保坂,第3回)
	4	11	17	3～5時限	第2実験実習室(担当:千・保坂,第4回)
	5	11	19	3～5時限	第2実験実習室(担当:千・保坂,第5回)
	6	11	20	3～5時限	第2実験実習室(担当:千・保坂,第6回)
	7	11	27	3～5時限	第2実験実習室(担当:喜井,第1回)
	8	12	1	3～5時限	第2実験実習室(担当:喜井,第2回)
	9	12	3	3～5時限	第2実験実習室(担当:喜井,第3回)
	10	12	4	3～5時限	第2実験実習室(担当:喜井,第4回)
	11	12	8	3～5時限	第2実験実習室(担当:小西,第1回)
	12	12	10	3～5時限	第2実験実習室(担当:小西,第2回)
	13	12	11	3～5時限	第2実験実習室(担当:小西,第3回)
	14	12	15	3～5時限	第2実験実習室(担当:鈴木,第1回)
	15	12	17	3～5時限	第2実験実習室(担当:鈴木,第2回)
	16	12	18	3～5時限	第2実験実習室(担当:鈴木,第3回)
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	マスクを着用する。			
	2	手指消毒,手が触れた場所(机・椅子等)を消毒する。			
	3	換気を実施する。			
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
受講学生 への 連絡事項					

## 実験・実習の開講計画書

科目名	農村整備演習				
担当教員	内川義行				
開講日		月	日	時限	場所等
および 時限	1	10	1	3～5	教室
	2	10	8	3～5	伊那市内
	3	10	15	3～5	伊那市内
	4	10	22	3～5	教室
	5	10	29	3～5	教室
	6	11	5	3～5	教室
	7	11	12	3～5	教室
	8	11	19	3～5	教室
	9	11	26	3～5	教室
	10	12	3	3～5	教室
	11	12	10	3～5	県内地域現場見学
	12	12	17	3～5	県内地域現場見学
	13	12	24	3～5	県内地域現場見学
	14	1	14	3～5	県内地域現場見学
	15	1	21	3～5	教室
	16			～	
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	マスクを着用する。ただし、屋外での実習の場合、人と十分な距離が確保できる場合 には熱中症対策としてマスクをはずして行う			
	2	手指消毒, 手が触れた場所(机・椅子等)を消毒する			
	3	3つの密を回避する取り組みを行う(人との距離を2m離す, 1班5人以内とする)			
	4	換気を実施する(少なくとも1時間おきに10分以上, 2方向)			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
受講学生 への 連絡事項					

## 実験・実習の開講計画書

科目名	植物資源科学実験 I				
担当教員	濱渦康範, 齋藤勝晴, 加藤新平				
開講日	月	日	時限	場所等(場所は基本的に第4実験室・30番講義室)	
および 時限	1	10	1	3~6	ガイダンス, 器具と試薬の取扱い
	2	10	8	3~6	土壌物理性
	3	10	15	3~6	土壌化学性
	4	10	22	3~6	試薬調製
	5	10	29	3~6	抽出と分画
	6	11	5	3~6	比色分析
	7	11	12	3~6	繊維成分の視覚化・ゲル化
	8	11	19	3~6	酸化酵素の作用
	9	11	26	3~6	PCR・病原体接種
	10	12	3	3~6	タンパク質抽出
	11	12	10	3~6	SDS-PAGE
	12	12	17	3~6	微生物解析
	13	12	24	3~6	バイオインフォマティクス
	14	1	14	3~6	レポート作成
	15	1	21	3~6	総括・復習
	16			~	
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	2グループに分けて実施する。			
	2	開始前に検温とアルコール消毒を実施する。			
	3	1班3名以内とし, 正面で向かい合っの座席配置としない。			
	4	定期的に換気を実施する。			
	5	マスクを着用する。			
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
受講学生 への 連絡事項	<p>※「生物分析化学」の内容と実験実習内容が関連しています。 事前にeALPS上で「生物分析化学」の講義資料にアクセスし, 十分に実験の予習をしてから望んで下さい。</p> <p>なお、『生物分析化学』については半分をPDF資料のeALPS掲示とし, 半分を実験実習の中での対面講義とする形にします。 必ずしも対面講義ではありませんのでご注意ください。</p> <p>実験当日は, 実験ノート, 白衣およびマスクを持参してください。 実験ノートは生協購買部にある黄色表紙の方眼タイプを事前に購入して下さい。</p>				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	動物生産システム実習Ⅱ				
担当教員	今井				
開講日		月	日	時限	場所等
および 時限	1	10	1	3～4	AFC農場構内ステーション
	2	10	8	3～4	AFC農場構内ステーション
	3	10	15	3～4	AFC農場構内ステーション
	4	10	22	3～4	AFC農場構内ステーション
	5	10	29	3～4	AFC農場構内ステーション
	6	11	5	3～4	AFC農場構内ステーション
	7	11	12	3～4	AFC農場構内ステーション
	8	11	19	3～4	AFC農場構内ステーション
	9	11	26	3～4	AFC農場構内ステーション
	10	12	3	3～4	AFC農場構内ステーション
	11	12	10	3～4	AFC農場構内ステーション
	12	12	17	3～4	AFC農場構内ステーション
	13	12	24	3～4	AFC農場構内ステーション
	14	1	14	3～4	AFC農場構内ステーション
	15	1	21	3～4	AFC農場構内ステーション
	16	1	28	～	レポート提出
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1 班分けし(1班5人)、班毎に異なる作業をローテーションで行う				
	2 教室を使用する際は座席を指定し、2mの距離を確保する				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
受講学生 への 連絡事項	<p>実習日:木曜日(13:00～16:10)            集合場所:実習作業室前            服装:作業着、長靴、帽子、雨具等 ※各自で準備、着用すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻、早退する場合は事前に連絡すること</li> <li>・天候、作物の状況により実習内容を変更することがある</li> <li>・少しでも体調に異変を感じた場合は、教職員に伝えること</li> <li>・各自で熱中症対策を行うこと(飲料の用意、保冷材等の活用)</li> <li>・マスクを持参、着用すること(但し、高温下での作業中は熱中症予防のため外してもよい)</li> </ul> <p>以上</p>				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	木材科学演習					
担当教員	安江 恒・細尾佳宏					
開講日	月	日	時限	場所等		
および 時限	1	10	1	3～4	B実験棟3階実習室	
	2		8	3～4	B実験棟3階実習室	
	3		15	3～4	B実験棟3階実習室	
	4		22	3～4	B実験棟3階実習室	
	5		29	3～4	B実験棟3階実習室	
	6	11	5	3～4	B実験棟3階実習室	
	7		12	3～4	B実験棟3階実習室	
	8		19	3～4	B実験棟3階実習室	
	9		26	3～4	B実験棟3階実習室	
	10	12	3	3～4	B実験棟3階実習室	
	11		10	3～4	B実験棟3階実習室	
	12		17	3～4	B実験棟3階実習室	
	13		24	3～4	B実験棟3階実習室	
	14	1	14	3～4	B実験棟3階実習室	
	15		21	3～4	B実験棟3階実習室	
	16			～		
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	着座席の指定と十分な間隔を空ける。予定受講者数約30名/7スパン				
	2	定期的な換気				
	3	試料や器具の共用は避ける。やむを得ない場合は逐次消毒。				
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
受講学生 への 連絡事項	教科書:「この木なんの木」 佐伯 浩著 海青社 必要とする道具(生協でも販売しています, 売り切れ注意) ・スケッチブック(A4サイズ) ・鉛筆(H or HB) ・NTカッター(大)または切り出しナイフ ・ルーペ(15 or 20倍) 1回目(10/1)から観察を行います。上記教科書及び道具を持参してください。					



## 実験・実習の開講計画書

科目名	生産環境計測演習				
担当教員	鈴木純				
開講日 および 時限		月	日	時限	場所等土木材料実験室
	1	10/2		9:00～17:50	説明、土壌試料調整、土質試験（粒度）
	2	10/9		9:00～17:50	土質試験（密度、粒度浮標試験）
	3	10/16		9:00～17:50	土質試験（液性限界試験、塑性限界試験）
	4	10/23		9:00～17:50	気象観測の説明
	5	10/30		9:00～17:50	温度計の検定、気温、地温の測定
	6	11/6		9:00～17:50	温度データの修正、データの整理
	7	11/13		13:00～16:10	考察のプレゼンテーション
感染防止 対策 (3つの密の 回避策)	1	受講生を最大 <b>12名</b> 以下とします。			
	2	原則としてマスクの着用をお願いします。			
	3	受講生間の距離を2m程度離します。			
	4	消毒用アルコールを用意します。			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
受講学生 への 連絡事項	土を扱うので、対応できる服装で参加して下さい。長靴、帽子、軍手、防塵のためのマスク等				



## 実験・実習の開講計画書

科目名	動物生命機能学実験				
担当教員	米倉、高谷、高木、諸白				
開講日		月	日	時限	場所等
および 時限	1	10	2	3~5	30番講義室、第4実験実習室
	2	10	9	3~5	30番講義室、第4実験実習室
	3	10	16	3~5	30番講義室、第4実験実習室
	4	10	23	3~5	30番講義室、第4実験実習室
	5	10	30	3~5	30番講義室、第4実験実習室
	6	11	6	3~5	30番講義室、第4実験実習室
	7	11	13	3~5	30番講義室、第4実験実習室
	8	11	20	3~5	30番講義室、第4実験実習室
	9	11	27	3~5	30番講義室、第4実験実習室
	10	12	4	3~5	30番講義室、第4実験実習室
	11			~	
	12			~	
	13			~	
	14			~	
	15			~	
	16			~	
感染防止 対策 (3つの密の回避策)	1	開始前に非接触型電子温度計を用いて検温し、マスクの着用を義務付ける			
	2	30番講義室で実験の概要等を説明する			
	3	30番講義室を待機場所として、実験台につき3名を上限として実習とする			
	4	1時間おきに10分以上の換気を実施する			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
受講学生 への 連絡事項	30番講義室に集まり下さい。またマスクの着用もお願いします。 3~5時限に実習を行います(本来は3~4時限)。よって実習は10週になります。				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	植物生産一貫実習Ⅱ				
担当教員	春日重光				
開講日 および 時限		月	日	時限	場所等(いずれも構内ステーション)
	1	10	2	13:00~16:10	稲刈り
	2	10	9	13:00~16:10	ヤマブドウの収穫
	3	10	16	13:00~16:10	サツマイモの収穫・野菜・果樹類の管理
	4	10	23	13:00~16:10	培養土の作成, 野菜・果樹類の収穫・管理
	5	10	30	13:00~16:10	脱穀・糲摺・精米, ソバの調整, 野菜・果樹類の管理
	6	11	6	13:00~16:10	シクラメンの管理, 野菜・果樹類の収穫・管理
	7	11	13	13:00~16:10	シクラメンの管理, 野菜・果樹類の収穫・管理
	8	11	20	13:00~16:10	リンゴの収穫と選果
	9	11	27	13:00~16:10	ダイコン・野沢菜の収穫
	10	12	4	13:00~16:10	漬け物加工(ダイコン, 野沢菜等)
	11	12	11	13:00~16:10	果樹の剪定(ブドウ)
	12	12	18	13:00~16:10	米の加工・食味試験
	13	1	8	13:00~16:10	果樹の剪定(リンゴ)
	14	1	13	13:00~16:10	ジャム加工
	15	1	22	13:00~16:10	イチゴの管理
	16			~	
感染防止 対策 (3つの密の 回避策)	1	受講生を10名程度の班として、実習内容、場所を分けて行います。			
	2	原則としてマスクの着用をお願いします。			
	3	人との距離を2m程度離す			
	4	消毒用アルコールを用意する			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
受講学生 への 連絡事項	圃場作業ができる服装で参加して下さい、長靴、帽子、軍手等				

## 実験・実習の開講計画書

科目名	緑地設計製図				
担当教員	上原三知				
開講日		月	日	時限	場所等
および	1	10	2	1～5	現地調査 解析 構想作り 伊那市調査
時限	2	10	9	1～5	基本方針、空間構成 施設のイメージ 伊那市調査
	3	10	16	1～5	既存の公園見学（未定）
	4	10	23	1～5	造成計画 動線計画、施設計画 植栽計画 の作成
	5	10	30	1～5	基本計画のまとめ 中間発表
	6	11	6	～	完成予想模型作製
	7	11	13	～	完成予想模型作製
	8	11	20	～	成果のプレゼンテーション / 授業アンケート
	9			～	
	10			～	
	11			～	
	12			～	
	13			～	
	14			～	
	15			～	
	16			～	
感染防止 対策 (3つの密の回避策)	1	1班5名以下とし、各人2m以上の間隔をとる。			
	2	マスクを着用する。			
	3	消毒用アルコールにより、適宜、手先の消毒を行う。			
	4	3密とならないよう学バスを利用(受講生は19名のため、利用方法に基づき、バスの座席を指定し、換気に留意する)。			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
受講学生 への 連絡事項	本年度はバスの利用可能状況や、新型コロナの感染拡大状況などを踏まえて、バスに利用を伴う敷地調査や、既存の公園見学の対象について変更をする可能性があります。				



## 実験・実習の開講計画書

科目名	動物資源化学実験					
担当教員	下里・荻田・田中・河原・神・上野					
開講日	月	日	時限	場所等		
および 時限	1	12	11	3～6	30番教室、第4、第5実験実習室(担当:下里)	
	2	12	18	3～6	30番教室、第4、第5実験実習室(担当:下里・荻田)	
	3	12	25	3～6	30番教室、第4、第5実験実習室(担当:田中)	
	4	1	8	3～5	30番教室、第4、第5実験実習室(担当:河原)	
	5	1	13	3～5	※金曜振替 30番教室、第4、第5実験実習室(担当:河原)	
	6	1	22	3～5	30番教室、第4、第5実験実習室(担当:神)	
	7	1	29	3～5	30番教室、第4、第5実験実習室(担当:神)	
	8	2	5	1～6	30番教室、第4、第5実験実習室(担当:上野)	
	9			～		
	10			～		
	11			～		
	12			～		
	13			～		
	14			～		
	15			～		
	16			～		
感染防止 対策 (3つの密 の回避策)	1	全体説明と待ち時間、休憩時間では30番教室を使用する。				
	2	実習室を2会場[F棟第4、第5実習室]使用し、各班少人数体制で実習を行う。				
	3	入室の際に、検温、マスクの着用とアルコール消毒を徹底する。				
	4	1時間おきに10分間の換気を行う。				
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
受講学生 への 連絡事項	3～5限(一部1限、2限、6限を含む)に実習を行います(本来は3～4限)。3限は生物分析化学との共同開講。(※2/5は1限と3限が生物分析化学との共同開講なので気をつけること) 問い合わせ先:下里(shimot@shinshu-u.ac.jp)					